


# 多様なニーズに対応した教育支援の充実

<p>&lt;主要施策&gt;</p>	<p>評価</p>
<p>(3) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進</p>	
<p>&lt;主要事業&gt;</p>	
<p>② 「わたぼうし」相談支援体制の充実                  ② 特別支援教育研修会の開催及び保護者等学校視察の実施                  ③ 就学相談事業の充実</p>	<p>A</p>

<p>目的</p>	<p>特別支援教育にかかわる理解と啓発を図り、一人一人のニーズに応える特別支援教育を推進する。</p>
<p>目標</p>	<p>○ 適正な就学に向けての情報提供を行い、学校も保護者も納得できる就学につなげる。                  ○ 関係機関等と連携・協力による一貫した支援を行う。</p>
<p>執行の状況及び成果</p>	<p><b>1 「わたぼうし」相談支援体制の充実</b>                  相談窓口として、教育相談窓口「わたぼうし」を設置し、幼児児童生徒の発達や障がいにかかわる教育相談を推進しています。全小・中学校保護者、幼稚園・保育園保護者に「わたぼうし」チラシを配布するとともに、市教委ホームページにも掲載し、周知を図っています。「わたぼうし」の相談窓口を、見附市教育委員会、見附小学校、名木野小学校、葛巻小学校、今町小学校、見附特別支援学校と複数開設することで、相談しやすい環境作りに努めています。28年度は前年度同様8件の相談依頼がありました。</p> <p><b>2 特別支援教育研修会の開催及び学校視察の実施</b>                  特別支援教育にかかわる理解を推進す</p> <div data-bbox="829 1265 1380 1937" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>保護者の皆様</b></p> <p style="text-align: center;"><b>教育相談窓口</b></p> <p style="text-align: center;"><b>「わたぼうし」のお知らせ</b></p> <p style="text-align: right; font-size: small;">見附市教育委員会 見附市特別支援教育推進委員会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p><b>「わたぼうし」では・・・</b> 子どもの発達や障がいにかかわる教育相談の窓口です。例えば、こんなときにぜひ相談してください。</p> <p><b>就学前のお子さん</b> ・発音が気になる、ない。 ・私語が多すぎる、ない。 ・言葉が遅い、言葉が不明。 ・こだわりが強いなど。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>学校に通うお子さん</b> ・進歩がなかなかない。 ・授業中のトラブルが多い。 ・叱咤が通じない。 ・特定のことにだけ関心する。 ・毎日生活に大変な毎日。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>その他</b> 子どもの生活がかなり不安定になった。 子どもの様子を見てほしい。 就学、進学について聞きたいことがある。 学校を退学したい。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p><b>「わたぼうし」特別支援教育専門相談員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○見附小学校 (橋井美子) ☎62-0141</li> <li>○今町小学校 (藤巻久美子) ☎86-2059</li> <li>○名木野小学校 (高野 薫) ☎62-0091</li> <li>○見附中学校 (櫻井加奈子) ☎62-0318</li> <li>○見附特別支援学校 ☎63-2210 (稲田真砂美、西川明子、渡邊智代)</li> </ul> <p>受付 月～金曜日 午前9時～午後4時30分                  ☆お近くの相談窓口「わたぼうし」へ直接、または、通っている国や学校を通じてご連絡ください。</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">次のような手順で相談を進めます。費用はかかりません。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: x-small;"> <div style="width: 30%;"> <p>★公認で電話の依頼をお願いします。</p> <p>★国や学校から連絡していただく方も大丈夫です。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>★相談の日時を定めます。希望日によって、特別支援教育担当職員が出席して対応させていただきます。</p> <p>★相談員は、それぞれの学校で学習や授業を担任していますので、業務時間外まで対応させていただきます。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>★相談の目的を定めます。希望日によって、特別支援教育担当職員が出席して対応させていただきます。</p> <p>★相談員は、それぞれの学校で学習や授業を担任していますので、業務時間外まで対応させていただきます。</p> </div> </div> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">※発達障害教室(見附小・今町小・名木野小)、見附市教育センター(☎62-2343)手付て支援センター(☎62-7803)、教育委員会こども課(☎62-1700)と連携して、相談・支援等にあっています。</p> </div> </div>




執行の状況及び成果	<p>るための特別支援教育講演会、保護者等学校視察を実施しました。</p> <p>特別支援教育にかかわる講演会は、東京都杉並区済美教育センター指導教授月森 久江様を講師にお招きし、8月23日（火）に実施しました。近隣の市町村にも案内し、教職員、保護者約450名の方から参加いただくことができました。（前年比+50人）</p>  <p>また、保護者等学校視察は、見附特別支援学校、見附小学校、名木野小学校、見附中学校を訪問し、年長児の保護者を中心に前年度と同じ21名の方から参加いただきました。特別支援学校、特別支援学級に加え、通級指導教室での授業参観や説明を加えることで、それぞれの違いや特性を知ることができ、適切な就学に向けての貴重な情報提供の場とすることができました。</p>								
	<p><b>3 健康教育、特別支援教育の充実を図る嘱託指導主事の配置</b></p> <p>従来の就学相談員による就学相談に加え、28年度新たに健康教育、特別支援教育に係る嘱託指導主事を配置し、就学相談業務の充実を図りました。幼稚園、保育園、小学校、中学校を訪問しての相談活動は延べ45回、相談内容は多岐にわたっています。この中には、こども課の保健師と一緒に訪問も含まれています。また、特別支援教育推進学校訪問を行い、特別支援教育コーディネータとの情報交換を通して連携を深めています。</p> <p><b>【成果】（就学支援相談件数）</b></p> <table border="1" data-bbox="284 1099 1417 1200"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就学支援相談件数</td> <td>42人</td> <td>61人</td> <td>65人</td> </tr> </tbody> </table> <p>「わたぼうし」支援相談体制の充実や特別支援教育研修会の開催及び学校視察の実施、健康教育、特別支援教育の充実を図る嘱託指導主事の配置により、特別支援教育に対する理解が深まり、学校も保護者も納得できる適切な就学につながっていると考えています。</p>	区分	26年度	27年度	28年度	就学支援相談件数	42人	61人	65人
区分	26年度	27年度	28年度						
就学支援相談件数	42人	61人	65人						
今後の方針等	<p>今後も特別支援教育の理解と啓発に努め、きめ細かい指導や相談活動や取組の充実を図ることで、一人一人のニーズに応える特別支援教育を推進していきたいと考えています。また、こども課との連携を深め、早い段階からの適正な就学に向けての情報提供に努めていきたいと考えています。</p>								
評価委員の意見	<p>発達障害等が心配される子どもが増えてきているように感じるが、見附市ではこども課のネウボラと学校教育課の就学相談事業が連携していて、早期対応ができていて素晴らしい。特にネウボラによって特別支援教育の理解が深まってきている。</p> <p>「わたぼうし」は幼・保・小・中の発達や障害にかかわる相談支援活動を続けてきており充実してきているが、中学校以降の就学、就労など成長に合わせた途切れのない支援が必要である。</p>								

## 安心安全で快適な教育環境の整備

<主要施策> (1) 快適な学びの空間づくりの推進	評 価
<主要事業> アースプロジェクトの推進	B

目的	学校におけるハード面の整備や省エネやエコ活動の取り組みを家庭に向けて紹介することにより、家庭における省エネルギーへの取り組みを促すなど、環境意識の啓発の一助とする。
目標	自然を利用して地球環境を守る自然にやさしい取り組みを実践することにより、子どもたちの心身の発育向上と地域と学校のつながりを強化し、「無理のない創エネ・笑エネ・省エネ」を合言葉に学校環境から成果を発信する。
執行の状況及び成果	<p><b>【執行の状況】</b></p> <p>(1) 校庭芝生化 見附・名木野・上北谷・新潟小学校 2,600 m<sup>2</sup>、今町小学校 2,000 m<sup>2</sup>、第二小学校 1,300 m<sup>2</sup>、葛巻小学校 1,500 m<sup>2</sup>、田井小学校 1,305 m<sup>2</sup>のグラウンド芝生化。 芝のクッションで、子どもたちを転倒などのケガから守るとともに地球の気温上昇を抑制して子どもたちを熱射病から守ることを目的としています。</p> <p>(2) グリーンカーテン設置 市内全小中特別支援学校（13校）、全公立保育園（7園）、いままち悠々（今町子育て支援センター）で実施。 地球温暖化対策として、エアコン等を使わずに室温の上昇を抑制します。</p> <p>(3) 太陽光発電装置の設置 全小中学校に設置し、最大で195KWを発電。名木野・新潟・第二小学校、見附中学校では、売電事業にもチャレンジ。</p>



<p>執行の状況及び成果</p>	<p>地球にやさしい自然エネルギーを利用した環境保全を実施するとともに、子どもたちに電気料金の削減・節電意識を醸成します。</p> <p>(4) 学校のみどり創出モデル事業 (田井小学校)          将来を担う子ども達に、学校をフィールドとした緑化活動の機会を提供し、緑化に対する意識を啓発する為、学校・保護者・地域住民が一体となり、森づくり (植樹) を行っています。</p> <p>(5) EM菌を活用した学校プール清掃          EM菌 (有用微生物群) 培養液をプールに投入することで汚れや悪臭の軽減と清掃作業の労力削減を実現します。</p> <p>(6) EM菌を活用した給食残渣や調理くずの堆肥化          EM菌活用による発酵処理で、堆肥化した残渣等を学校緑化に有効活用する。</p> <p>(7) 屋上緑化 (見附小学校)          校屋上に2教室分 (約 140 m<sup>2</sup>) の芝生を設置。屋上直下の教室の室温上昇を抑制します。</p> <p><b>【成果】</b>          校庭芝生化や学校みどりの創出事業では地域コミュニティや利用団体等の協力を得るなど地域とのつながりが図られている。また、太陽光発電やEM菌活用など複合的な活動に間組むことにより地域や家庭に環境意識の重要性を発信することができた。</p>	  
<p>今後の方針等</p>	<p>引き続き、地球環境を守るための取り組みを継続し、児童生徒の健やかな心身の発育を図り、環境教育の推進に努めます。</p>	
<p>評価委員の意見</p>	<p>校庭の芝生化、グリーンカーテン、太陽光発電装置の設置、EM菌を活用等、目に見える形で見附市全校が取り組んでいることは、実際の効果以上に地球環境やエコへの意識付けに有効である。</p> <p>今後は各校独自の取り組みとともに環境教育を推進していただくとともに、施設などの維持管理にも取り組んでいっていただきたい。</p>	